



パラ学

パラスポーツを通じて「多様性」と「しなやかな心」を育むプロジェクト

長野県 / 2024.5

令和6年度の車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジの受付を行っております。
詳しくは、P21をご覧ください。

“ スポーツを通じて共生社会をつくる ”



長野県では、新しいパラスポーツ普及の波を起こし、
2028年に長野県で開催される全国障害者スポーツ大会を成功させるため「パラウェーブNAGANO」プロジェクトがスタートしています。

東京2020パラリンピックを契機に生まれたこのプロジェクトは、
子どもや高齢者、障がいのある人もない人もすべての人を巻き込んだ大きなパラスポーツの波とし、
「スポーツを通じた共生社会」を目指しています。

| ビジョン |

この共生社会創造プロジェクト『パラウェーブNAGANO』では、次の5つのビジョンを掲げ、より良い未来へのシフトを目指します。



1

スポーツの可能性に満ちた日常へ。

2

スポーツがつなぐ魅力的なコミュニティへ。

3

多様な挑戦を応援しあえる関係へ。

4

しなやかな心が連鎖する社会へ。

5

誰もが夢を描ける未来へ。

スポーツの可能性に満ちた日常へ。

パラスポーツの持つ「誰でも参加できる」という魅力が長野県全体で理解され、多くの人々が、競技をする、応援する、さらに新しいスポーツを考えるなど、多様にスポーツを楽しむようになります。性別や年齢、障がいのあるなしを問わず、様々な形でスポーツに関わることのできる機会が広がっていきます。



スポーツがつなぐ魅力的なコミュニティへ。

スポーツには人を動かす力があります。

パラスポーツの波が広がることで、より多様な人々がつながり、結束力のあるコミュニティが生まれていきます。

様々な課題や困難な状況に直面したときにも、パラスポーツが紡いだ人と人のつながりが共助の力を高めていきます。



多様な挑戦を応援しあえる関係へ。

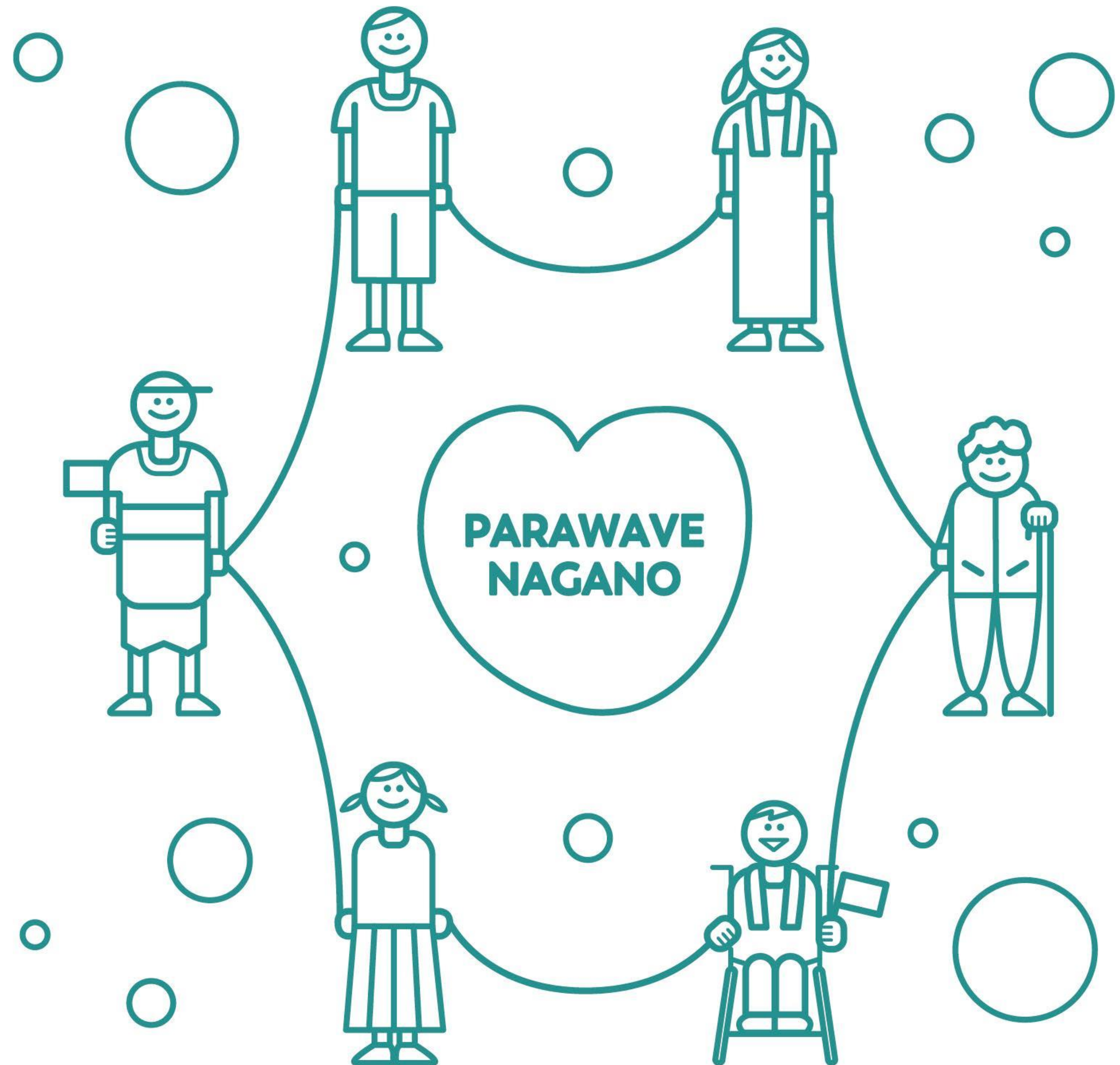
パラアスリートをはじめ、自分の可能性を信じて挑戦する人の姿は、私たちに勇気をあたえます。さまざまな困難や目標に向かう姿には、自然と応援する気持ちが広がり、応援する人たち自身の日々の新たな挑戦への活力となります。

そんな連鎖が、笑顔と希望に満ちた未来をつくります。



しなやかな心が連鎖する社会へ。

パラスポーツの普及が進むことで、大きな夢を胸に抱くアスリート、そのアスリートを支える仲間、そしてファンの輪が世代を超えて広がっていきます。パラスポーツの持つ本質的な魅力が、多くの人々の社会的な自律と利他の心を育み、包容力のある社会が実現します。



誰もが夢を描ける未来へ。

パラスポーツが身近になることで、誰もが自由に、ありたい自分、新しい自分に向けていける未来へとシフトしていきます。

私たちがつくる未来は、可能性に満ちあふれています。



| パラウエーブNAGANOにおけるパラ学の位置付け |



長野県・日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ）の協働プロジェクト

（公財）日本財団パラスポーツサポートセンターは、パラスポーツを通じて誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン（D&I）社会の実現を目指し、パラリンピック競技団体の運営支援をはじめ、パラアスリートや障がいのある当事者と一緒に知る、学ぶ、体験する、パラスポーツを活用したD&Iプログラムを展開しています。

パラサポと県は「スポーツを通じた共生社会の創造に向けた連携・協力に関する協定」を締結し、スポーツを楽しむことを通じて、ともに支え合う地域社会の創造に向けたモデルを構築すること、その取り組みを全国に広めていきます。



ボッチャ競技大会
「パラウエーブNAGANOカップ」

パラ学
PARAWAVE NAGANO

（教育プロジェクト）

パラウエーブ広場

（※その他にも展開されている事業があります。）

「スポーツを通じた共生社会」の創造を軸に

県が推進するパラスポーツに関連する事業の総称を「パラウエーブNAGANO」とし各事業を展開しています。

中でも今回展開する教育プロジェクトは、県内の学校（主に小学校・中学校）で継続的かつ幅広く利用していただける事業として位置付け、学校教育の面から共生社会への意識醸成を促す事業として推進していきます。

パラ学

PARAWAVE NAGANO



✓ パラ学とは

県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行うプロジェクトです。

✓ 目的

座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むことを目的としています。

パラスポーツは性別や年齢、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが一緒に参加できるように様々な創意工夫がされており、多様性を考える上で重要なヒントが詰まっています。

✓ パラ学で得られる学び

- ・障がいをつくり出している「環境」や、障がいに対する「考え方」への気づき
- ・多様性を理解し、尊重する姿勢
- ・広い視野と好奇心をもってチャレンジする大切さ
- ・パラリンピック、パラスポーツが持つ魅力や面白さ

✓ 目指す姿・願い

長野県ではパラ学を通じて、子どもたちがより良い社会づくりのために行動を起こし、自分たちが暮らす信州で共生社会の担い手になれることを目指しています。

| パラ学推奨プログラム一覧 |

パラリンピック教育教材による学び

種類	費用	提供	プログラム	形式	概要	対象	詳細
座学 体験	無料	日本 パラリンピック 委員会	『I' mPOSSIBLE』 (アイムポッシブル) 日本版	教員による授業	既に全学校に配布されている 国際パラリンピック委員会公認教材活用	小4～6年・中・高等学校、 特別支援学校	→p. 12

パラスポーツを活用した共生社会への学び

種類	費用	提供	プログラム	形式	概要	対象	詳細
体験 (+講話)	無料	長野県	車いす ボールチャレンジ	出前授業	競技用車いすを使用した 県独自のパラスポーツ体験プログラム 県出身パラリンピアンを講師派遣	小学校4～6年、中学校*	→p. 13
			ブラインドフットボール チャレンジ	出前授業	ブラインドフットボールを題材とした 県独自のパラスポーツ体験プログラム 県出身講師を派遣	小学校4～6年、中学校*	→p. 15
			ボッチャ用具貸出	教員による授業等	県が無償でボッチャセットを貸出 I' mPOSSIBLEを参考に各自で実施	小・中・高等学校、 特別支援学校	→p. 16
	有料	パラサポ	あすチャレ！ スクール	出前授業	パラアスリート講師から様々な気づきを得る パラスポーツ体験型出前授業	小・中・高等学校*	→p. 17
			あすチャレ！ ジュニアアカデミー	出前授業 (オンライン可)	パラアスリート講師から共生社会を学ぶ ワークショップ型授業	小4～6年・中・高等学校、 特別支援学校	
			あすチャレ！ メッセンジャー	講演 (オンライン可)	スピーチトレーニングを修了した パラアスリート等の講師派遣	小・中・高等学校、 特別支援学校	

*特別支援学校での実施については、ご相談ください。

『I' mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』 日本版とは

『I' mPOSSIBLE』日本版は、パラリンピックを題材に共生社会への気づきを子どもたちに与える教材です。（開発：日本パラリンピック委員会／日本財団パラスポーツサポートセンター）座学と実技の2部で構成されており、障がい当事者や、パラリンピック関係者がいなくても授業ができるよう、必要なものが全てセットになっております。

2017年より2020年にかけて小学生版、中学生・高校生版を全国約36,000校に無償で配布しており、今すぐに取り組めるようになっております。

また、2024年春からは、アニメーション教材が新たに加われました。映像が授業を進捗することで、子どもたちにとってあまり身近ではない話題や、想像しにくいシーンを効果的に学習できます。

以下の公式サイトからもダウンロードできます。（「I' m possible パラリンピック」と検索！）

公式サイト：<https://iam-possible.online/>



教材キット

- ・授業用シート
- ・児童用ワークシート
- ・教師用指導案
- ・教師用授業ガイド
- ・教師用ハンドブック
- ・資料DVD
- ・教材データDVD
- ・映像資料DVD

**授業に必要なものが
すべて入っているのですのですぐに使えます！**



（写真は、長野市立松代小学校でのI' mPOSSIBLEを使った授業の様子です。）

【『I' mPOSSIBLE』日本版の内容】

- ・対象 6～18歳の児童・生徒を教える教員
- ・教材 全国の小中高等学校、特別支援学校、都道府県・市町村教育委員会に、配布済み
- ・構成 合計14授業分で構成され、各授業は全て独立しており、どれかひとつだけでも、複数を組み合わせることも可
- ・時間 1授業あたり、小学生版約45分、中学生版約50分

【パラ学での活用推奨ユニット】

- 1-1 パラリンピックってなんだろう？
- 1-3 公平について考えてみよう！
- 1-5 パラリンピアンが学校に来るとしたら

※もちろん、学校の状況に合わせてその他のユニットも活用可能です

| 車いすボールチャレンジとは |



バスケットボール用車いすに乗って、みんなでゴールを目指せ！

「車いすボールチャレンジ」

長野県出身のパラリンピックのメダリストを講師として学校に派遣します。
(学校体育館で実施、原則小学4～6年生・中学生が対象、90分～100分授業)

※子どもたちの体験の質を高めるため、事前にI 'mPOSSIBLEの活用を推奨しています。

【講師】

加藤 正
(伊那市出身)

車いすバスケットボール
アイススレッジスピードレース

馬島 誠
(辰野町出身)

パラアイスホッケー
パラ・パワーリフティング

新津 和良
(長野市出身)

パラアイスホッケー
車いすバスケットボール

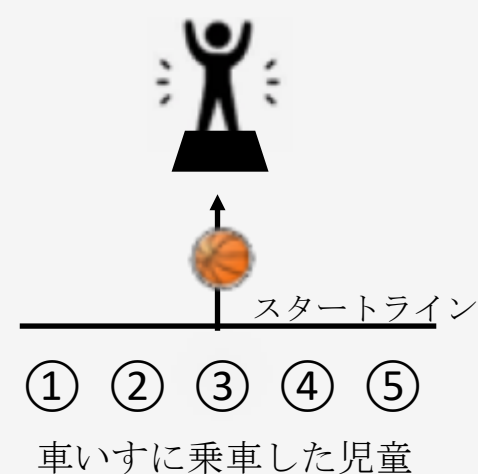
1回目の挑戦

まずはチャレンジ！

6人1グループで全員が競技用車いすに乗車した状態で、スタートラインからボールを移動させ、2分間で何回ゴールができるかを競います。

<イメージ>

ゴールマン



みんなで話し合い (作戦会議)

講師から最小限のヒント！

どうすればゴールが増えるか
みんなで考えよう！



2回目の挑戦

話し合あったことを実践！

1回目より多くのゴールを
決められるだろうか…



振り返り

気づきの交流

講師からの振り返り



子どもたちの到達目標

- みんなで工夫し協力して、困難を乗り越えることの大切さを実感
- 夢中になって真剣に取り組む、パラスポーツをより身近な存在に感じる
- 体験後もパラスポーツに引き続き興味を持ち、自発的に次のステップへの意欲を持つ

バスケットボール用車いすは、（公社）24時間テレビチャリティー委員会から長野県に寄贈いただいた物です。

車いすボールチャレンジ講師ご紹介

パラスポーツ体験プログラムには県出身のパラアスリートを講師として派遣します。



加藤 正 (かとう ただし)

【生まれ年】1969年

【出身】長野県伊那市

【自身が行ったスポーツ】

競泳、アイススレッジスピードレース
パラアイスホッケー、車いすバスケットボール
シッティングバレーボール、アーチェリー など多数

【自身の障がいについて】

小学2年生の時 骨肉腫になり、左足大腿部から切断。
(切断による左下肢の機能障害)

【自身が伝えたいキーワード、メッセージ】

自分を表現する武器を見つけよう。

【戦績】

1) 競泳

1988年：韓国 ソウル夏季パラリンピック 出場

2) アイススレッジスピードレース・パラアイスホッケー

1994年：ノルウェー リレハンメル冬季パラリンピック 日本人初出場

1998年：長野冬季パラリンピック 日本選手団 旗手

アイススレッジスピードレース 500m銀メダル、1000m銀メダル、1500m銅メダル

パラアイスホッケー Best6 (Best ディフェンダー)

2002年：ソルトレイクシティ冬季パラリンピック 日本選手団 主将

パラアイスホッケー チームキャプテン

2006年：トリノ冬季パラリンピック パラアイスホッケー出場

※夏と冬合わせて5大会のパラリンピックに出場



馬島 誠 (まじま まこと)

【生まれ年】1971年

【出身】長野県辰野町

【自身が行ったスポーツ】

パラアイスホッケー、パラ・パワーリフティング

【自身の障がいについて】

熱傷による両下肢の機能障害。車いすユーザー

【自身が伝えたいキーワード、メッセージ】

「他喜力」を軸に、いろんなことにチャレンジするためのモチベーションを上げる方法や、他人を思いやる気持ちの大切さなどをお伝えします。

【戦績】

1) パラアイスホッケー

2006年：トリノパラリンピック 5位

2010年：バンクーバーパラリンピック 銀メダル

2) パラ・パワーリフティング

2018年：ジャカルタ (インドネシア) 2018アジアパラ競技大会 97Kg級 7位記録155Kg

2019年：ヌルスルタン (カザフスタン) 世界選手権 97Kg級 21位記録150Kg

2020年：第20回全日本パラ・パワーリフティング国際招待選手権大会 97Kg級 優勝記録159Kg

2021年：第21回全日本パラ・パワーリフティング国際招待選手権大会 97Kg級 優勝記録161Kg

※現在も現役選手として活動中



新津 和良 (にいづ かずよし)

【生まれ年】1987年

【出身】長野県長野市

【自身が行ったスポーツ】

パラアイスホッケー、車いすバスケットボール

【自身の障がいについて】

中学1年生の時 骨肉腫になり、右足下肢を切断。
(切断による右下肢の機能障害)

【自身が伝えたいキーワード、メッセージ】

「小さなチャンスから大きなチャンスへ」をキーワードに闘病生活やアスリート活動での経験や、前向きに挑戦し続ける大切さについてお伝えします。

【戦績】

1) パラアイスホッケー

2024年：長野日野自動車杯第32回パラアイスホッケー全国クラブ選手権大会 優勝

2023年：Astana 2023 World Para Ice Hockey Championships B-Pool 優勝

2022年：全国クラブ選手権大会 優勝

日韓親善試合MVP

国内クラブ選手権大会 優勝

2021年：北京2022パラリンピック冬季競技大会最終予選 6位

世界選手権 B-pool Östersund 4位

2020年：国内クラブ選手権大会 優勝

2019年：国内クラブ選手権大会 優勝

世界選手権 A-pool Ostrava 8位

※現在も現役選手として活動中

視覚を超えて、心でつながる



「ブラインドフットボールチャレンジ」

長野県出身の講師を学校に派遣します。
(学校体育館で実施、原則小学4~6年生・中学生が対象、90分~100分授業)

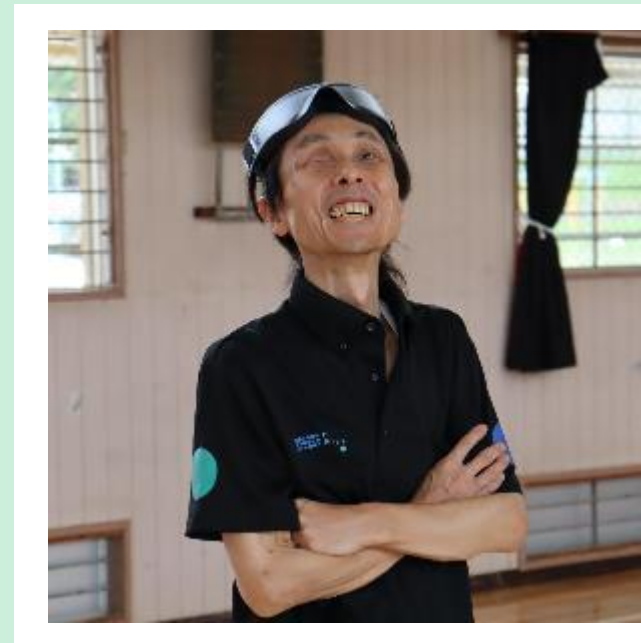
※子どもたちの体験の質を高めるため、事前にI'mPOSSIBLEの活用を推奨しています。

【講師】

中沢 医(坂城町出身)

長野県ブラインドサッカー協会会長
「松本山雅B.F.C(ブラインドフットボールチーム)代表」

中学生のころ体育の授業中の事故をきっかけに全盲となる。以降、ブラインドフットボールに精力的に取り組み、2009年には「松本山雅B.F.C」の前身である「FC長野RAINBOW」を設立。現在も選手としてプレーしながら、県内各地で体験会を実施。



アイマスクをつけてミニゲーム

「視えない」状態でミニゲームに挑戦！

ミニゲームゲームをクリアするために
チームでコミュニケーションの方法を工夫してみよう！



ブラインドフットボール体験

専用ボールを使いながらパスやドリブルに挑戦！

ボールの音やチームメイトの声を頼りに
競技を体験してみよう！



振り返り

気づきの交流

体験を通じて得た気づきをもとに
講師と一緒に振り返り



子どもたちの到達目標

- ・コミュニケーションやチームワークの重要性を実感
- ・みんなで工夫し協力して、困難を乗り越えることの大切さを実感
- ・夢中になって真剣に取り組み、パラスポーツをより身近な存在に感じる

| ボッチャ用具貸出について |



【全学年対象】 みんなでチャレンジしよう！

「ボッチャ用具を借りて、体験してみよう」

ボッチャ用具（公式）の貸出を無償で行います。
 ※貸出についてはお気軽にお問い合わせください。
 ※ボッチャ体験への講師派遣はありません。



ボッチャは、老若男女、障がいのあるなしに関わらず、
 すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。



体験授業に役立てていただけるよう『I'mPOSSIBLE』の
 「2-3 ボッチャをやってみよう！」の動画（DVD）で、
 ルールの説明、授業の進め方を紹介しています。

ボッチャ用具はライオンズクラブ国際協会334-E地区、長野県遊技業協同組合、大塚製薬（株）から長野県に寄贈いただいた物です。

| あすチャレ！プログラムについて |

あすチャレ！とは(公財)日本財団パラスポーツサポートセンターが実施する、パラスポーツを通じて共生社会を目指す教育・研修プログラムです。詳細・申込については各プログラムのホームページよりご確認ください。

あすチャレ！スクール

【概要】パラアスリートのデモンストレーション・代表児童生徒によるパラスポーツ体験・講話の3部から構成される90分間の出前授業。パラアスリートに直に触れることで様々な気づきを得られます。(募集期間があります)

【対象】小・中・高等学校(1学年～全校生徒【応相談】)

【費用】3万円/回

【H P】<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>



あすチャレ！ジュニアアカデミー

【概要】パラアスリートを中心とした講師とパラスポーツを題材に共生社会について楽しく学べるワークショップ型授業。オンラインでの授業も実施しています。(随時受付)

【対象】小4～6年・中・高等学校、特別支援学校

【費用】(対面型)3万円/回、(オンライン)1万円/回

【H P】<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/jracademy/>



あすチャレ！メッセンジャー

【概要】独自のスピーチトレーニングプログラムを修了したパラアスリートやパラスポーツ指導者による講師派遣プログラムです。講師自身の経験に基づいた多彩なテーマでの講演をお届けします。(随時受付)

【対象】小・中・高等学校、特別支援学校

【費用】要相談

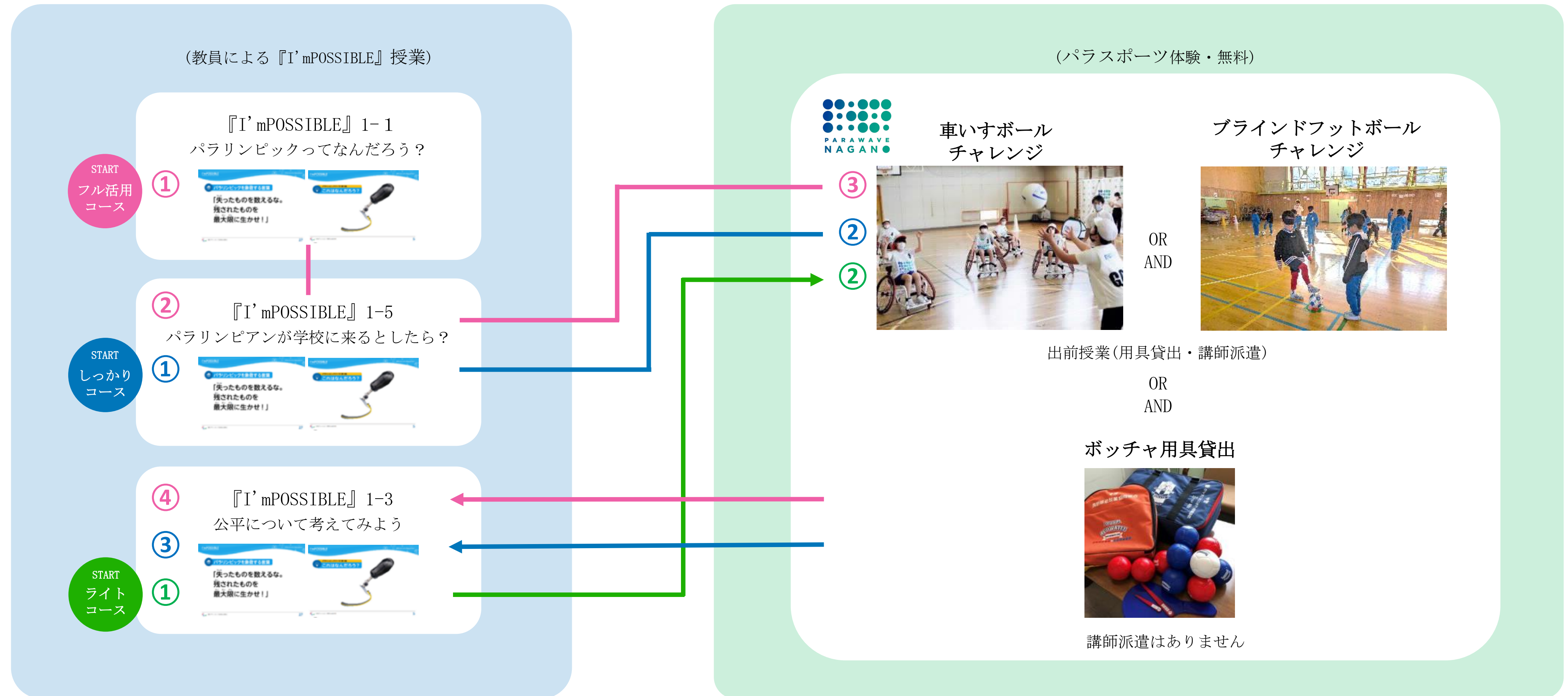
【H P】<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/messenger/>



各プログラムの活用方法(組合せ例)

パラリンピック教育教材による学び

パラスポーツを活用した共生社会への学び

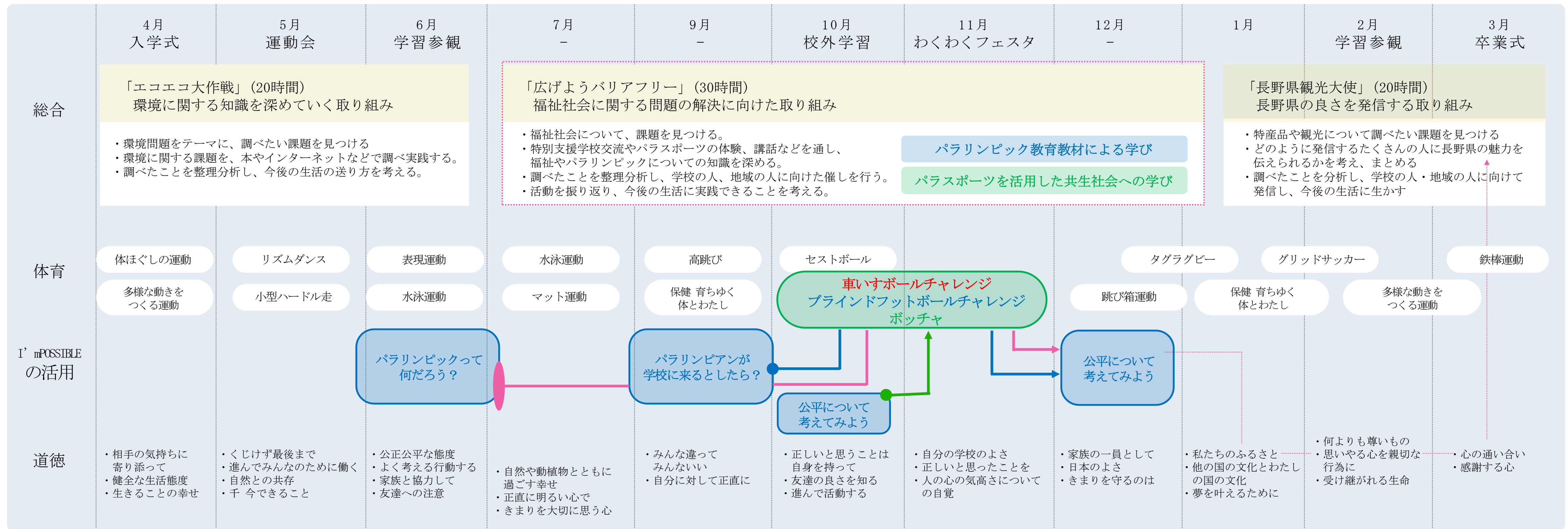


上記は一例ですので、まずは取組みやすいプログラムから始めていただくことをお勧めします。

各プログラムの活用方法(タイムライン例)



年間指導計画 (第4学年)



年間指導計画における既存の授業との組合せの一例です。

お問い合わせ先

各プログラムのお問い合わせ先は以下のとおりです。

プログラム	連絡先	
『I'mPOSSIBLE』日本版	日本パラリンピック委員会	Mail: paraedu@parasports.or.jp
車いすボールチャレンジ*	長野県観光スポーツ部スポーツ振興課 パラスポーツ係	TEL : 026-235-7108 (8:30~17:15) FAX : 026-235-7476 Mail: parawave@pref.nagano.lg.jp
ブラインドフットボールチャレンジ*		
ボッチャ用具貸出し		
あすチャレ! スクール	日本財団パラスポーツサポートセンター あすチャレ! スクール事務局	TEL : 03-6807-4418 ※電話受付: 平日10:00~17:00 FAX : 03-6807-4988 Mail : school@parasapo.tokyo
あすチャレ! ジュニアアカデミー	日本財団パラスポーツサポートセンター あすチャレ! ジュニアアカデミー事務局	TEL : 03-6807-4987 ※電話受付: 平日10:00~17:00 FAX : 03-6807-4988 Mail : jracademy@parasapo.tokyo
あすチャレ! メッセンジャー	日本財団パラスポーツサポートセンター あすチャレ! メッセンジャー事務局	TEL : 03-6807-4431 ※電話受付: 平日10:00~17:00 FAX : 03-6807-4988 Mail : messenger@parasapo.tokyo

* 「車いすボールチャレンジ」及び「ブラインドフットボールチャレンジ」を申込みの場合は次ページの必要事項を添えてご連絡ください。

パラ学全般について

長野県観光スポーツ部スポーツ振興課 パラスポーツ係

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2 電話: 026-235-7108(8:30~17:15)
FAX: 026-235-7476 / メール: parawave@pref.nagano.lg.jp

| 車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジ 申込みについて |

車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジの利用を希望される学校は、以下の方法によりお申し込みください。

【概要】

- 実施期間 ～令和6年3月中旬
- 受付 随時受付 ※予約は先着順です。
- 対象 小学校4年生～6年生、中学校1年生～3年生
※特別支援学校、小学校低学年は、ご相談ください
- 実施単位 原則はクラス単位ですが36人以内であれば
複数クラス、学年で実施可能です。
- 実施時間 原則2時間分（90～100分程度）
※参加人数により変動します。
※実施開始の1時間前から準備のために体育館を使用します。
- その他
県では、車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジがより充実した授業になるよう、事前事後学習に教材I' mPOSSIBLEの利用を原則としております（教員の方がすぐに取りかかれる教材となっております）。
教材のことで不明な点がある方は、お気軽にお問い合わせください。

1 WEBからのお申込み

下記のURLまたはQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/vYFcJVnZsa4pfecc9>

「パラ学」の紹介HPからもアクセスできます。

「パラ学」で検索してください。



2 FAXからのお申込み

別紙の申込用紙に記入いただき、下記事務局までお送りください。

(FAX) 026-403-2373

※お申込み後に、事務局担当よりご連絡いたします。

※ご不明な点等ございましたら、下記事務局までご連絡ください。

申込み・お問い合わせ連絡先

パラウェーブNAGANO2024運営事務局
(株式会社共立プランニング内)

電話：080-8080-2256(9:00～18:00) FAX：026-403-2373
メール：parawavenagano@kyoritz-p.co.jp

| 車いすボールチャレンジの実績・利用した学校の声 |

実績 (令和3年7月末～令和5年3月末)

多くの学校に実施いただいております。

実施校数

のべ 130 校

実施クラス数

278 クラス(回)

受講数

6,433 人

学校の声

〈 先生方の声 〉

こどもたちが成長する
時間になった
(6年生担任)

よく考えられていて、
教員が使いやすいプログラ
ムになっている
(教頭先生)

このプログラム、
考えたのは誰ですか？
よくできてる。
(5年生担任)

みんなで協力するこ
とがどれだけ大切な
のか分かった
(4年生児童)

〈 子どもたちの声 〉

車いすであってもそうでな
くても、一緒にスポーツを
楽しむことは、みんなだれ
でも同じだと思った
(4年生児童)

私も「できない」を
「できる」に変えら
れる人になりたい
(4年生児童)

ここで学んだことをまだ
知らない人に伝えたい。
そうしたらきっと、世の
中の障がいのある人への
態度が変わると思う
(4年生児童)

| Q & A |

- Q** パラ学は、無料で利用できるのですか。
- A** 『I'mPOSSIBLE』日本版は既に学校に配布されている教材をご利用いただけます。
車いすボールチャレンジ、ブラインドフットボールチャレンジ、ボッチャ用具貸出については、学校側の費用負担はございません。
日本財団パラスポーツサポートセンターが提供する「あすチャレ！」プログラムを実施する場合は所定の費用がかかります。
- Q** 『I'mPOSSIBLE』日本版の授業の実施は、誰がやればいいのですか。
- A** 『I'mPOSSIBLE』日本版の授業は、学校の教員の方々に教材を用いて実施していただきます。
- Q** 車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジはいつ実施可能ですか。
- A** 5月以降であれば、いつでも可能です。
お申し込みについては、先着順とさせていただきます。
また、車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジを実施する際は、事前事後に、『I'mPOSSIBLE』日本版の授業実施を推奨しております。
- Q** 車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジは、希望の日程で実施できない可能性もありますか。
- A** 先着順で受付けていることから、希望に添えない場合もございます。特に10月～12月は競合する恐れが大いにあります。
また、申込みの際は3日程の候補を挙げていただきますようお願いいたします。
- Q** 車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジについて、事前に準備しておくことはありますか。
- A** 当日までに児童の皆さまを4人～6人のグループに分けておいていただくようお願いいたします。
(4人に満たない人数の場合は、県までお気軽にお問い合わせください。)
- Q** 『I'mPOSSIBLE』日本版が見当たらないのですが、どうすれば手に入れますか？
- A** 『I'mPOSSIBLE』日本版は全国の小中高等学校、特別支援学校に配布されております。紛失されてしまった場合は、「問い合わせ先」へご連絡ください。
WEBからも無料ダウンロードが可能です (<https://www.parasports.or.jp/paralympic/iampossible/>)。
- Q** パラ学は特別支援学校でも行うことはできますか。
- A** いずれのプログラムも特別支援学校で行うことができます。なお、車いすボールチャレンジ/ブラインドフットボールチャレンジについては事前にお問い合わせください。
- Q** 不明な点がある場合はどうすればいいですか。
- A** 不明な点等がありましたら、お気軽に「問い合わせ先」へご連絡ください。